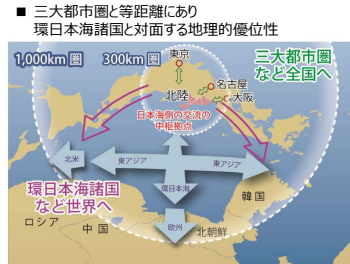
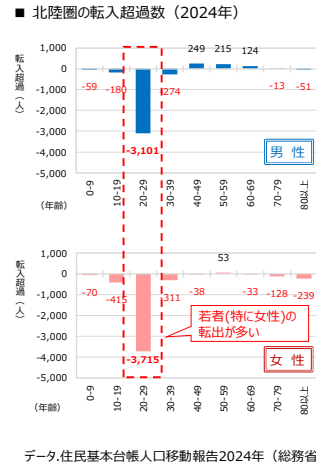
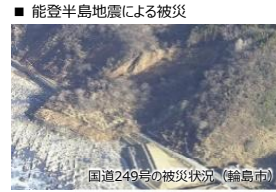


## 現状・課題

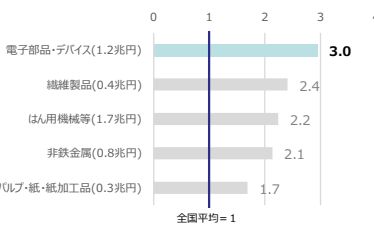
- 震災復興と自然災害への対応**
  - 令和6年能登半島地震からの復旧・復興や激甚化・頻発化する自然災害等への対応
- 多様なニーズに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の形成**
  - 若者の人口流出への対応や多様な価値観を受容する社会の形成
- 多様で個性ある地域の持続的発展**
  - 集約型都市構造への転換と半島や中山間地域等での過疎化の進行への対応
- 自然環境との調和**
  - 美しく豊かな自然環境等の保全や脱炭素社会に向けた対応
- 地理的優位性を生かした産業の強化**
  - 地理的優位性や特徴あるものづくり産業の集積を生かした競争力強化
  - 農林水産業の魅力向上による産業の強化と担い手確保
- 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転等への積極的な対応**
  - 大規模災害における我が国の経済活動の持続性の確保
- 圏域外のひととの多様な関係構築と新しい交流圏の形成**
  - 観光需要の回復・高まりへの対応と交通ネットワークの更なる強化
  - 関係人口の拡大や新しい交流圏の形成



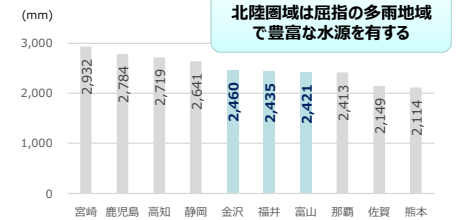
## 産業等の強みの客観的な把握

- 北陸圏は、産業別修正特化係数(生産額ベース)(データ①)をみると、「電子部品・デバイス」産業等に強みを有している。
- また、北陸圏は北陸新幹線の開業も踏まえ、三大都市圏とのアクセス性に優れていることや豊富な水資源を有すること(データ②)などの強みを有している。

<データ①>: 産業別修正特化係数(生産額ベース)<sup>※1</sup>  
(括弧内は生産額)



<データ②>: 県庁所在地(気象台)の年間降水量TOP10<sup>※2</sup>



※1) 環境省、(株) 価値総合研究所「地域経済循環分析(2022年版Ver.9.1)」より作成。産業別修正特化係数(生産額ベース)とは、圏域内の産業別生産額構成比を全国平均と比較し、貿易を考慮した係数であり、同係数が1を超える産業は全国平均よりも強みのある産業(集積している産業)である。  
※2) 気象庁「気象統計情報」を基に、過去10年間データ(2015~2024年の10年平均値)より作成。

## 将来像・目標

### 【将来像】

住み心地・居心地よく、多彩な魅力を生かして躍動する北陸

- 目標1** 北陸圏での魅力ある暮らしの実現  
生活環境・雇用環境の充実と安全・安心かつ環境と調和した地域づくり
- 目標2** 競争力のある産業の育成  
競争力と魅力がある産業の形成や新たな需要を取り込む地域産業の活性化
- 目標3** 日本海側の中枢圏域の形成  
北陸圏の社会経済活動を支える信頼性の高いネットワークの形成
- 目標4** 交流・関係人口の創出  
北陸の魅力を生かした国内外との交流・関係の創出

## 広域連携プロジェクト

### 1. 安全・安心な地域づくりPJ

震災等からの創造的復興による魅力ある暮らしの実現及び防災・減災、国土強靱化の一環の強化やメンテナンスの戦略的・計画的な推進

(事業例)  
・能越自動車道、国道249号沿岸部等の道路ネットワークの災害復旧、令和6年(2024年)奥能登豪雨による河川の災害復旧、港湾の防波堤改良や空港などの老朽化対策 など

### 2. 多様性と包摂性のある地域づくりPJ

震災等からの創造的復興による暮らしと住まひの再建や北陸圏の充実した子育て環境・居住環境などを生かした多様な価値観に応じた暮らし方・働き方が選択できる地域づくりを推進

(事業例)  
・子育て支援事業、明るい長寿社会づくり推進事業、多様な人材確保・育成支援事業、ワークライフバランス企業の表彰 など

### 3. デジタルを活用した地域生活圏形成PJ

北陸新幹線で接続される接続型都市圏を軸として、地域公共交通ネットワークへの「リデザイン」等により、都市の利便性及び農山漁村のゆとりを享受できる地域生活圏の形成を推進

(事業例)  
・富山外環状道路、金沢外環状道路、福井港九尾インター連絡道路等の整備、自家用車を活用した地域の助け合いによる日本版及び公共ライドの運行 など

### 4. 北陸圏グリーン化PJ

立山・黒部及び白山等の自然環境の保全及び北陸圏の豊かな水資源を活用した水力発電などの再生可能エネルギーの導入による脱炭素化を推進

(事業例)  
・神通川自然再生事業、希少野生動植物の保護対策事業の推進、カーボンニュートラルの形成 など

### 5. 活力ある農林水産業形成PJ

震災等からの創造的復興による農林水産業の持続的な発展に向けた農山漁村の活性化、コメ・日本酒等の「北陸ブランド」の魅力を生かした産業の活性化

(事業例)  
・農地中間管理事業、食のやまブランド推進事業の推進、いしかわ農村ボランティア、地理的表示保護制度の活用 など

### 6. 競争力と魅力ある地域産業形成PJ

震災等からの創造的復興による伝統工芸産業等の事業再建・継承及び北陸圏の優れた人材の育成・定着に向けた魅力的な就業機会を増やす取組を推進

(事業例)  
・炭素繊維革新的研究開発促進事業の推進、中部地域の半導体産業を担う人材の育成・確保 など

### 7. 産業誘致PJ

太平洋側のバックアップ機能の確保及び三大都市圏と等距離にある地理的優位性を生かして、電子デバイス街道の形成など、競争力のある産業を育成

(事業例)  
・伏木・富山港、七尾港、金沢港の国際物流ターミナルの整備、企業誘致の受入環境の整備 など

### 8. 日本海側の中枢圏域形成PJ

日本海側の港湾の連携及びゲートウェイ機能の充実に向けた環日本海ネットワークの形成及び日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用した国土構築の構築を推進

(事業例)  
・敦賀港複合・貨物送ターミナル整備事業(福井県敦賀市)  
・能越自動車道、中部縦貫自動車道、富山高山連絡道路等の道路ネットワークの整備、敦賀港複合・貨物送ターミナルの整備 など

### 9. 個性豊かな観光地域づくりPJ

震災等からの創造的復興による持続可能な観光地域づくり及び北陸新幹線の開業効果を北陸圏全域に波及させるため、国内外観光客の受入環境の整備等を推進

(事業例)  
・金沢公園の復元整備、若狭湾サイクリングルートの整備、世界文化遺産登録に向けた取組、手ぶら観光(手ぶら観光カウンター)の推進 など

### 12. 隣接圏域等との連携促進PJ

北陸圏と等距離にある三大都市圏(中部圏、近畿圏、首都圏)のほか、日本海側沿岸地域として隣接する東北圏など、広域圏相互で連携した取組を推進

(事業例)  
・東海北陸自動車道、富山高山連絡道路等の整備、日本海にむき合い交流海運ネットワークの創出、ドクターヘリ相互応援の連携 など

### 10. 新たな交流圏形成PJ

北陸新幹線の延伸、リニア中央新幹線開業などの交通ネットワーク拡充を生かし、新しい交流圏の形成を図り、観光需要の拡大を促進

(事業例)  
・舞鶴若狭自動車道、富山高山連絡道路、金沢能登連絡道路(のと里山海道)等の整備、クルーズ船の大型化に対応した港湾の強化 など

### 11. 関係人口拡大PJ

北陸圏の農山漁村の暮らし文化及び雪国文化等の地域の魅力を生かして、二地域居住等による関係人口の拡大に向けた環境形成及び人材育成を推進

(事業例)  
・二地域居住モデル構築検討の推進、サテライトキャンパスの設置、やま農山村Life推進事業 など

### 13. 震災からの創造的復興PJ

震災等からの創造的復興を実現するために、必要な横断的な広域連携プロジェクトとして、暮らし、産業、交流など多様な取組を推進

(事業例)  
・能越自動車道、金沢能登連絡道路(のと里山海道)及び国道249号沿岸部等の道路ネットワークの災害復旧、宅地の液状化対策 など

## 2050年の北陸圏(将来像)イメージ



※本資料は、北陸圏広域地方計画協議会及び北陸圏広域地方計画有識者懇談会における議論等を踏まえ、2026年(令和8年)5月時点での検討状況を整理したものである。